

平成27年3月9日

発行

名古屋工学院専門学校校友会

名古屋市熱田区神宮四丁目 7-21

<http://koyukai.denpa.ac.jp/>

<第56号>

『校友会発足60周年』

校友会長 池戸 博行



校友会会員の皆様におかれましては、益々のご健勝とご活躍のこととお喜び申し上げます。

平成26年3月の役員会において、校友会第31代会長の2期目に再任されました。引き続き拝命したことに、役職の重要性から一層身の引き締まる思いです。昨年、校友会の前身である名古屋高等無線電信学校同窓会が昭和29年3月に発足して60年になり、校友会員数は6万1千人を超えました。30期の2年間は、母校

『今こそ、専門学校の時代に』

校長 小川 明治



現在、専門学校は大きく変化、進化をしようとし、ご存じのように、昨年の四月から、文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」が、専門学校の中に設置されました。

初年度は全国で470校、1365学科、本校においても9学科の認定を受けました。そして、昨年2学科の認定申請をいたしました。

さらに、昨年の7月3日に、政府の教育再生実行会議、第5次提言において、

も60周年を迎えた時期で、学園と連携を図りながら今後どのように校友会を発展させるかという課題がありました。

そこで、「校友会の発展の為、愛知県、岐阜県、長野県、静岡県卒業生の方にも校友会活動に積極的に参加してもらい、充実した校友会にしたい。」というお話を、静岡県と長野県に支部を設立し、校友会支部は10支部となりました。

昨年9月には校友会のホームページをリニューアルし、パソコンだけでなく、スマートフォンにも対応させ、いつでもどこからでも校友会の情報を見ることができるようになりました。校友会からの情報発信を強化して、卒業生の皆様との

学術研究を基にした大学と、職業教育を専門的に行う高等教育機関の創設の検討が始まりました。いわゆる「新学校種の創設」であります。

現在、有識者会議が開催されており、3月末までには、何らかの基本方針が出され、その後、中央教育審議会で論議される予定です。

職業教育の重要性は、世界規模で叫ばれております。我が国において、安倍政権のもと、職業教育が見直しされております。

しかし、現実には高度経済成長の終わりと共に、工業高校の数は減り始め、バブル崩壊後加速度的に、生徒数も減って

絆をより深めたいと思います。「求めよ、さらば与えられん」の言葉の通り、節目の年に未来に向けて新たな校友会の基礎を再構築したいと考えております。具体的には、校友会活動を活発にする為、各県に1つの支部であったものを愛知県の場合、尾張北地区、三河地区、知多地区、名古屋市・・・といったように地域支部の設置検討。また、卒業年度毎や学科及び分野別の同窓会組織と連携を図りたいと考えております。これからも皆様のご意見を伺いながら、母校を支える元気のな校友会として活動できるように頑張りたいと思いますので、今後ともご協力とご支援をお願い申し上げます。

きました。さらに、近年は、商業科も減少しはじめ、政府が『日本は、ものづくりの国だ』と叫んでも、誰が現場を支えるのですか。今後、震災復興があり、さらに、東京オリンピックも開催されます。今後の、日本を支えるのは、職業教育を行っている専門学校なのです。

卒業生の皆さん、『今こそ、専門学校生の時代』です。

大いに胸を張り、夢を持って、前に進んでいって欲しいと願っております。

最後に、校友会会員の皆様の、益々のご健勝とご活躍をお祈りするとともに、本校へのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

「社会人として」

機械CAD設計科2年

平成24年卒 越野 雄介

1年間の現場研修を終え、生産技術部への異動が決まった。現場研修ではライン作業で日々数をこなすのに追われる毎日だった。

生産技術部は、現場のライン作業とは全く違うものだった。

仕事内容は改善業務や新規部品の立ち上げがメインだ。

私に与えられた仕事は新規部品の立ち上げだった。ここで、同じことの繰り返しだった毎日の生活が一変した。

仕事内容は、会社の長期的な計画に対して、月毎の詳細な計画、目標を自分で立て仕事を進めていくことだ。

ここで、仕事に対する考え方や姿勢が変わり、責任感と使命感がより一層強くなった。そして仕事に対してやりがいを感じるようになった反面、計画通りには進まずミスは許されなく逃げ出したくなることもあり、苦難の連続で心が折れ、会社を辞めたくなるこ

ともあった。

そんな時に毎月の給料明細に必ず添えられている社長の一言が刺激になっていった。

例えば、「ポジティブに物事を考え、プロの意識を持ち、変化に対応できる人材になろう。」

「教えられた仕事をこなすだけでは淋しい！！あれは自分がやったんだと言える仕事をしよう」などだ。

日々の仕事に追われて忘れがちな前向きさや、仕事に対する姿勢、今やるべきこと、できることを再認識できる機会になっていく。

今後、環境変化や時代の変化に応じて変わることのでき、会社にとって必要な人材になりたいと日々、頑張っています。



「ものづくり」の伝統

産業技術学科 長谷川 和宣

1952年、本校の前身である名古屋高等無線電信学校が創立されてから62年。各分野・学科で様々な伝統が引き継がれている。

国家資格の対策授業・補習、外部展示会への作品制作、学外イベントへの実習参加、各種競技会への参加などもそのひとつである。

改めて振り返ってみれば、『あの時頑張った事、やりきった事が伝統の原点・転換点だった』と思うこともあるだろう。

現在10号館では、旧5号館の制御・ロボット・CAD分野に加え、東海工業専門学校から機械工学科を迎え入れ、「ものづくり」を通して知識・技術を学んでいる。

毎年11月から1月下旬頃までは、毎晩多くの学生が遅くまで残り、ロボット大会出場・研究発表作品作りのために励んでいる。

旧5号館に居た頃は、『不夜城』と冷やかされたほどで、いつまでも煌々と明かりが点いていた。

ただ残念なのは、ものづくりで残っているそのほとんどが、卒業研究のある最

高学年の4年生、または研究科のクラスであり、限られたメンバーであったことだ。

さて、本年度もその時期を迎えたが、昨年までとは少し様子が違う。

1～3年生を加えた多くのクラスの学生が残り、製作に励んでいる。

ロボティクス創造学科の4年から1年、ロボット科2年、メカトロ工房制御技術科1年、機械工学科2年、機械CAD設計科2年と、実に多くのクラスが何らかの形で「ものづくり」に励んでいるのである。

担当教員も加工室・実習室で指導する時間がずつと多くなった。

その要因は様々考えられるが、学生の「つくりたい！」という思いと、担任・担当教員や講師の先生方の熱意の結果であることは間違いない。

特に今年は、4年生の卒業研究に3年生も加わり、一緒になって製作を行っている。先輩と後輩の繋がりが深くなった点が、今までと大きく異なる。

ものづくりで得られるものは実に多く、さらに他者に教える事で自他共に大きく成長していく。

先輩が先輩から学び、今度はその後輩に技術を伝える。

それが今年だけで終わらず、この分野の新しい伝統となるよう努めていきたい。

平成25年度 校友会事業経過報告

年月日 事業内容

25・5・12 校友会大阪支部総会 開催

荒木・豊田・倉田 出席12名

25・5・20 校友会常任役員会 開催

25・6・27 校友会メールマガジン

【かもめ〜ルNo.31】配信

25・6・29 校友会支部長総会 開催

25・7・19 卒業生による特別講演会

「通信技術者の仕事と

業界が求める人物像」

熊崎 茂樹氏

(平成13年3月電波通信研究科卒)

25・10・15 校友会メールマガジン

【かもめ〜ルNo.32】配信

25・10・26

学園祭 校友会コーナー運営

25・11・9 校友会静岡支部総会 開催

堀内・池戸・坂田・坂下

出席16名

25・11・23 校友会三重支部総会 開催

森下・池戸 出席19名

25・11・23 校友会沖縄支部総会 開催

堀内 出席9名

26・2・24 校友会常任役員会 開催

校友会賞審査

26・3・7 校友会賞授与(21名)

26・3・7 校友会誌『かもめ』

26・3・20 校友会誌『かもめ』

第55号発刊

26・3・28 校友会メールマガジン

【かもめ〜ルNo.33】配信

(1319通発送)

各支部長

および支部連絡先

▽富山支部長 中島 光憲

昭和49年第一部テレビ技術科卒

・支部担当 村崎 博樹

▽石川支部長 坂本 守

昭和52年第一部電気通信科卒

・支部担当 石黒 誠

▽福井支部長 山崎 利治

昭和40年第一部電気通信科卒

(活動休止中)

▽四国支部長 松浦 正昭

昭和34年第一部本科卒

・支部担当 高須 真人

▽沖縄支部長 南風原 武則

平成4年 電気工学科卒業

・支部担当 小林 真治

▽静岡支部長 富田 明

昭和53年電気工学科卒

・支部担当 坂下 正義

▽長野支部長 市瀬 耀一

平成25年電気工学科卒業

・支部担当 松橋 卓也

☆支部担当連絡先

名古屋工学院専門学校

校友会各支部担当者
所在地 名古屋市熱田区
神宮四丁目7・21

電話 052・681・1311(代)

第31期校友会常任役員

会長	池戸 博行
副会長	岩井 敬典
副会長	松岡 昇
書記	古市 雅邦
書記	石原 昭
會計	堀内 豊
幹事	村岡 好久
幹事	竹下 啓太
幹事	根岸 雅巳
幹事	坂下 正義
幹事	高須 真人
幹事	松本 英晃
幹事	梶間 泰
幹事	長谷川 和宣
幹事	石黒 誠
幹事	隈元 良一
幹事	松橋 卓也
幹事	神谷 裕之
幹事	村崎 博樹
幹事	平石 義博
幹事	田中 和彦
會計監査	神谷 公司
會計監査	小川 明治
相談役	坂田 和義
相談役	倉田 豊行
参与	

平成25年度 校友会収支決算書（一般会計の部）

収入の部 合計金額 25,196,543 円
 支出の部 合計金額 25,196,543 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	23,344,937	会誌発行費	232,311
校友会活動費	1,848,000	支部結成維持費	1,365,235
預金利息	3,606	講演会費	10,000
		援助費	5,000
		慶弔費	2,929
		備品消耗品費	56,595
		校友会賞費	69,510
		功労賞費	0
		会議費	0
		会長交際費	28,350
		学園祭協賛費	58,177
		予備費	306,375
		次年度繰越金	23,062,061
合計	25,196,543	合計	25,196,543

平成25年度 校友会収支決算書（特別会計の部）

奨学金特別会計

収入の部 合計金額 29,858,468 円
 支出の部 合計金額 29,858,468 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	4,807,601	今年度貸付金	0
前年度貸付繰越金	17,148,500	事務・通信費	0
一般会計から	0	次年度貸付繰越金	16,705,000
預金利息	2,367	次年度繰越金	5,253,468
奨学基金	7,900,000	奨学基金	7,900,000
合計	29,858,468	合計	29,858,468

(5)

【特筆すべき学生】

最近の工学院で特筆する学生を紹介いたします。後輩の頑張りを讃えて下さい。

●スペシャリスト3冠王

情報総合学科4年 鶴見圭章さん
昨年度に引き続き、今年度もスペシャリスト試験の3冠を手にする学生が現れました。

スペシャリスト試験は情報処理技術者試験の中で最上級の試験で、セキュリティ、データベース、ネットワークの3種類があります。
その道のプロですら合格が難しいとされているいわば「超難関」と呼ばれる試験です。

その試験に学生が合格する事自体快挙であり、本校で「高い技術力」を習得した証といえます。

鶴見さんは、入学当初からITに対する高い関心を示し、趣味でサーバーの自作やシステムの構築等を手がける学生でした。

アルバイトも、通信販売システムの構築を担当する「システムエンジニア」として活躍し、この経験もスペシャリスト3冠に繋がる勉強になったようです。

科目では、ネットワーク関係に強い興味を持ち、CCNAを早々と取得。現在はより上位のCCNPの取得を目指して頑張っています。

就職先は皆さんもご存じの「中部国際空港（セントレア）」で通信／ネットワークの管理を 行う「中部国際空港情報通信（株）」に内定いたしました。
まだまだ伸びる人材であり、将来の活躍を大いに楽しみます。

●人生の分岐点

電気工学科 鷺見 実さん

電気工学科は、大学を卒業後、あるいは社会人を経験してから入学してくる人は珍しくありません。

彼らには、第3種電気主任技術者試験に合格するという明確な目的があり、脇目も振らずに休憩時間や昼休憩の時間も勉強しています。

そんな姿を見て他の学生も影響を受けて勉強する、というのが電気工学科です。

今回紹介するのは、前述した過年度生の一人である電気工学科の鷺見実さん。
彼は現在38歳で結婚もしており、電気工学科でも珍しいケースになります。

以前は食品製造の工場に勤務して

ましたが、奥さんの父親が経営する電気保安管理会社への誘いがあり、そのために第3種電気主任技術者の資格が必要になりました。

高校は食品科学科を出ており、本校入学時は電気知識が全くない状態でした。

しかし「必ず合格しなければならぬ」というプレッシャーを抱える中、毎日遅くまで学校に残り勉強を続け、その甲斐あって第3種電気主任技術者試験に見事合格することができました。

背景には奥さん、義父の理解と協力に加え、一緒に勉強を教え合ったクラスメイトの存在があったと言います。

鷺見さんにとって人生の大きな分岐点となる異業種転職。

そのために挑んだ資格は易しいものではありませんでしたが、勝ち取った「これから」に期待したいと思えます。



鷺見 実さん (恵那農業高校出身)

●「セキュリティ・キャンプ

全国大会2014」で活躍
情報総合学科3年 田上雅章さん

情報処理推進機構が主催する「セキュリティ・キャンプ全国大会2014」に、当校から情報総合学科3年の田上さんが参加しました。

セキュリティ・キャンプとは、サイバーセキュリティに関する高度な知識や技術を全国から選ばれた学生が習得することを目的にしたイベントで、今年度は、千葉県のクロス・ウェーブ幕張で、8月12日～16日の期間で実施されました。

厳しい選考から選ばれた42名だけが参加出来るイベントでありましたが、300名を超える参加希望者の中から、田上さんは見事に参加するチャンスを得ることができ、セキュリティ技術を競う競技「CTF」では、2位に入賞する記録を残す事ができました。

セキュリティは、今日のIT・ネット社会が抱えている問題であるため、高いセキュリティ技術を持った人材が社会では望まれています。

田上さんは、情報セキュリティスペシャリスト試験にも合格しており、将来はネットワークやセキュリティ技術を活かす就職を考えています。

まさに、社会が必要とする人材であり、輝かしい将来を期待しています。

ちやよはなごい 自慢はなごい

『ものづくり分野の挑戦』

機械工学科とロボティクス創造学科の学生が中心となり、今年8月に開催予定のEPOCに参加するためのマシンの製作に取り組みました。



EPOCは、モノづくり社会の活性化に寄与することを目的としたイベントで、単3形乾電池40本を動力源として、体重55kg以上のドライバーが、鈴鹿サーキット国際レーシングコース5.801kmを3周走行し、そのタイムを競うレースです。

参戦予定の大会は第5回となり、年々レベルも上がり昨年の大会優勝チームは、コースを平均速度60km弱で走行し、

参加91台のトップとなっています。

初参戦の我がチームは、まずは完走を目標に、今後はテスト走行と改良を繰り返し、6月の試走会、8月の大会に挑戦していく予定です。卒業生の皆さんも是非応援してください。



こんな機械工学科を、今後ともよろしくお願ひします。
(機械の海坊主)

『継続は力なり』

情報処理技術者試験において、今年も多数の合格者を輩出しました。

まず、最高ランクのスペシャリスト試験で、今年も連続合格を**継続し、15年連続**となりました。情報セキュリティで7

名、データベースで4名、ネットワークで4名のスペシャリストが誕生しました。スペシャリスト試験は、官公庁や民間企業のシステム開発案件への入札条件として、保有人数を指定されることもあり、学生で取得することは、大手企業から内定を勝ち取る大きなアドバンテージにもなります。

また、基本情報技術者試験の在校生取得者数も3桁を**継続し**、110名となりました。次年度以降もこの成果を続けて行くことが大きな力となることを確信しています。



情報処理技術者試験の合格者で記念撮影
来年も頑張るぞ！

(ITドライブ)

『工学院が独占です！』

校舎沿いにある名鉄線の車窓から帰宅していくサラリーマンの姿が確認できる

時刻になっても、1号館の実習室からはPCや画用紙に向かい、熱心に制作を続ける学生の姿が確認できます。

今年も覗くことが出来るこの風景、制作を続けるのは、クリエイターを目指すゲーム・CG分野の学生たち。

彼らは、CG映像やゲームプログラムを生み出す力を求め、毎日繰り返し、制作を続けています。

毎日の繰り返しですが結果に繋がるのは、ゲーム・CG分野においても共通の現象で、今年はコンテストの結果に大きな成果を残すことが出来ました。

それらの結果の中でも、次の3つのコンテストにおいては、特に目立った結果となったので紹介させていただきます。

まずは、中山隼雄科学技術文化財団が主催した「社会を変える「夢のゲーム」アイデア大募集」。

こちらに置いては、本校の学生作品が専門学校として唯一、優秀賞を受賞することができました。

また、国内の優れたゲームを決め、東京ゲームショウで発表展示される「日本ゲーム大賞」においても、本校の学生作品が受賞することが出来ました。

なお、東海地区で2年連続の授賞は、これまた本校のみでした。

愛知県が主催した「愛知デジタルコンテンツコンテスト」では、コンテストの全ての部門において本校が最優秀賞である知事賞を独占することが出来ました。

工学院の学生は、日々努力を繰り返して、コンテストの授賞を独占しております。
(トリプルクリック)

(7)

『電子・デジタル家電分野の話題』

まずは今年度の就職内定状況だ。近年に無い急激な円安傾向、原油価格の不安定、世界情勢の不安材料等の影響も関係をしてか、まだまだ厳しい社会情勢の中、目標とする年度内100%を達成できるように頑張っている。

それぞれがあと1、2名の就職未決定者を残すのみ。ゴールは目前だ！

今年も勿論、中部国際空港情報通信(株)、KDDIエンジニアリング(株)、中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株)、パナソニック コンシューマーマーケティング(株)、日立コンシューマーマーケティング(株)等と、優良企業から多数の学生が内定をいただいた。

次に、超難関国家資格取得の近況だ。電子情報研究科、電子情報学科2年生では、陸上無線技術士の資格取得者に、多数の合格者が出ている。

第一級陸上無線技術士に山田 健裕さん、深澤 良輔さん、笠原 健太郎さんの3名。第二級陸上無線技術士に石田 智之さん、浅田 竣さん、深澤 良輔さん、鈴木 領一さん、山田 健裕さんの5名。延べ合計8名が合格した。難易度の高い試験であるが、日々の地道な努力がこの様な結果としてできた。

最後に、『工事担任者A I・DD総合種』の認定講座だ。総務省より認可された認定講座も今年で15年目に入った。今年度は、電子情報学科1年生23名が、全員取得を目標に頑張っている。この中には、外国籍の学生もいる。この認定講

座により、ほぼ6ヶ月間の勉強で情報通信技術者として是非とも欲しい価値ある資格が取得できるようになった。夢のような話ではないか。例年のように、3月中旬には、合格の目途が立ちそうだ。

(平成27年1月記載 デジデジ)

『伝統の力』

今年度の電験3種取得者数は60名を超えました。このおかげで就職も好調でした。中部電力(株)、(財)電気保安協会、出光興産(株)、アイシン精機(株)、他にも有名企業に多数内定を頂いています。特に(財)電気保安協会については、かつて中部のみの求人だったのが、今では全国の7地区から求人がきています。これも伝統として資格取得に力を入れてきた成果だと思います。



『カヅラカタ歌劇団特別実習』

今年も、年間で27現場ある中の一つ、最高レベルの特別実習をご紹介しましょう。毎年10月上旬に行われる名古屋市内の東海高校の演劇部が演じる「カヅラカタ」という歌劇です。照明、音響、映像の大規模な機器のシステムと在校生によるスタッフ。指導に当たる先生。生によるスタッフ。指導に当たる先生。「本番までと本番中の緊張感。」映像音響分野の中で選出されたメンバーの連携があつてこそ、進行します。



学生たちは全員、裏方ですから、結果が全てです。主催者側に喜ばれて感動をお客様に与えるため、失敗しないように頑張らなければなりません。放送局からの取材で学生スタッフが、テレビに映りました。本番の3ヶ月前から、スケジュールを立てて、カメラでの中継・収録方法や音響・照明の仕込み図など、行ってきました。毎日、夜遅くまで残り打ち合わせ。本番は、今年も見事にやり遂げました。

『CAD科でも製作』

一般的にCADスクール、CAD学科では、CADソフトウェアの操作のみを学ぶものが多く、中には製図も行わないスクールもあります。実物を作らないCAD学校が非常に多いのです。

そんな中、本校の機械CAD設計科は、実際に「ものづくり」も行います。CADデータから、3次元加工機へのデータ変換・加工や、今話題の3Dプリンタへのデータ出力を行い、手に取れる実物を製作します。

特に今年度は、よく学びよく食べよく遊ぶ、「なんでも挑戦！」の連中揃い。卒業制作として「機械式振り子時計」の設計製作をクラスの皆で決めました。後期の資格試験が終了してから毎日、授業後にクラスの約半数が残り設計。

材料や部品を買いに行き、金属板に穴をあけ、鉄材にねじ加工。小型のフライスや旋盤といった手動の機械も使います。精度が必要な部品は、ロボット分野の先輩にアドバイスをいただきながら、3次元加工機で。外装は3Dプリンタを駆使しました。

手探り状態で、最初は不細工でしたが、次第に加工もうまくなり試行錯誤と改良を重ね、完成したのは、製作発表会の前日。

発表会後、片付けをしながら「大変だったが、終ってしまったと寂しい」と、いつものように遅くまで残っていました。本校の機械CAD設計科は、ものづくりで学ぶCAD科だ。(カー吉)

平成26年度

母校のおもなできごと

あつという間に1年が過ぎました。つい先日1年生たちが入学したと思っただけ。つい先日、就職活動が始まったと思っただけ。などなど、ものすごいスピードで1年が過ぎていきます。

毎年感じていることですが、これも、卒業した先輩方と同様、在校生達が資格取得、技術習得、コンテスト出展、学外実習など自分たちがなすべきことをしつかりと理解し、自分自身の将来のために頑張ってきたからだと感じています。そんな、後輩たちの1年を振り返ってみます。

- 4月8日(火) 昼間部・オリエンテーション
- 4月9日(水) 電波学園合同入学式
- 4月10日(木) 始業式
- 4月20日(日) 春期 情報処理技術者試験
- 4月25日(金) 第1回県人会
- 5月16日(金) 第1回・企業説明会
- 5月17日(土) 教員懇談会 東海地区(卒業クラス)
- 5月25日(日) 工事担任者試験

5月30日(金) 献血運動

5月31日(土) 寮対抗球技大会

堀川まつり / ポスター採用 / 中川武志(ゲームCG学科) / 堀川まつりチラシ採用 / 服部匡利(ゲームCG学科)



6月1日(日) 第二種電気工事士筆記試験

6月4日(水) 新学生会役員任命

会長・小川翔平(デジタル家電科)

副会長・小西真央(映像音響科)

書記・徳永慎吾(情報システム科)

会計・志賀菜那(機械CAD設計科)

6月8日(日) 映像音響処理技術者資格認定試験

6月22日(日) 第1級・第2級CAD利用技術者試験

6月28日(土) 色彩検定

6月28日(土) 校友会支部長総会

6月28日(土) 7月13日(日) 教育懇談会 / 県人会担当教員が各地区へ赴き保護者との面談を行った。

6月28日(土) 7月13日(日) 伊勢・飯田・那覇、7/12静岡・金沢、7/13浜松・福井

6月28日(土) 7月13日(日) 7/28富山・高山、6/29長浜・郡上、7/5石垣・熊野・金沢、7/6伊勢・飯田・那覇、7/12静岡・金沢、7/13浜松・福井

7月8日(火) 11日(金) 第一級・第二級陸上無線技術士試験

7月12日(土) (株)フロム・ソフトウェア特別講演会

7月13日(日) CG-ARTS検定

7月20日(日) 第1級・準1級・第2級3次元CAD利用技術者試験

7月25日(金) 31日(木) 前期末試験

7月26日(土) 27日(日) 第二種電気工事士 上期技能試験

8月1日(金) 昼間部・夜間部終業(夏期休暇)

8月3日(日) エネルギー管理士試験

8月20日(水) 夜間部始業

8月25日(月) 9月9日(火) 第一級陸上特殊無線技士講習会

9月6日(土) 第二種電気主任技術者一次試験

9月7日(日) 第三種電気主任技術者試験

9月7日(日) 第29回マイクロマウス初級者大会(於・本校) / 家電エンジニア・アドバイザー試験(AV情報家電・生活家電) / Pro Tools 技術認定試験

9月10日(水) 家電製品アドバイザー試験(AV情報家電・生活家電)

7月6日(日) サウンドレコーディング技術認定試験



▲教育懇談会(福井会場)の様子。県人会担当教員が各地区へ赴き保護者との面談を行い、学校での様子や進路について話し合い、ご意見などを頂いた。

(9)

9月18日(木)～21日(日) 東京ゲームショウ見学会

9月20日(土) 日本ゲーム大賞2013
アマチュア部門/佳作

稲垣達也 (ゲーム総合学科3年)

君島一乃 (ゲーム総合学科3年)

玉井孝祐 (ゲーム総合学科3年)

多田将之 (ゲーム研究科1年)



10月5日(日) 第一種電気工事士筆記試験

10月11日(土) 東海地区教育懇談会
(進級クラス)

10月19日(日) 秋期 情報処理技術者試験

10月21日(火) 体育祭/残念ながら雨天のため中止。

10月25日(土) 26日(日) 第44回名学祭

テーマ「Dear ～あなたを想う～」

校友会コーナーでは、各地方の名産品の販売やノミの市を開催。売上金の全額を「広島県大雨災害義援金」「南木曾町豪雨災害義援金」に寄付をした。



▲まさに、名学祭を支えた実行委員

10月26日(日) 第33回マイクロマウス中部地区大会(於:本校)



11月16日(日) 機械設計技術者試験
11月23日(日) デジタル技術検定試験

／第一種・二種電気主任技術者試験(二次試験)

11月25日(火) 第8回愛知デジタルコンテンツコンテスト

アプリ/静止画両部門知事賞グランプリ/一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会会長賞/中部ゲーム産学協議会賞



12月7日(日) 第一種電気工事士技能試験

12月10日(水) 明治寮・明治北館避難訓練

1月16日(金) 第2回県人会



1月20日(火)～23日(金) 第一級・第二級陸上無線技術士試験

1月26日(月)～30日(金) 卒業試験
1月30日(金) 第3回全国専門学校ゲームコンペティション・グランプリ受賞



2月6日(金)～13日(金) 進級試験

3月8日(日) 家電製品エンジニア・アドバイザー試験

3月9日(月) 茶話会

3月10日(火) 卒業式

3月11日(水) 家電製品アドバイザー試験

3月13日(金) 終業

3月16日(月) 17日(火) 学園総合企業説明会

3月21日(土) 22日(日) 熱田の森ロボット競技会



学園あれこれ 二〇一五

みんな、よく間違いや勘違いがあるけれど、大きな失敗や事件につながることもなく、()では思わず頬も崩れる。

▼1号館2階の職員室が夏休みにリニューアルされた。

広々とした空間で評判も上々。特に入口近くに座っている鳥居先生と舟橋先生は風通しが良いと満悦。ところが、冬になり二人の表情が一変した。

入口の開け閉めの度に寒風が直撃する。そのため、鳥居先生は、立て板とストープ。ふなっしー、こと舟橋先生はマントで風をしのぎ、入口には「開放厳禁! ドアをしっかりと締めてください」

との張り紙が仰々しく張ってある。学生や先生が入り出すたびに鳥居先生の目がギロリと光る。戸をしつかり締めなきゃ「ダメよダメダメエ」。



鳥居先生
さすがにこの目で睨まれたら、コワ!!

ね
受講者の先生方からは「クスクス」と笑い声が。
神谷先生は、心の中でつぶやいた。「私はジャイアンなんかじゃない、カミヤ」

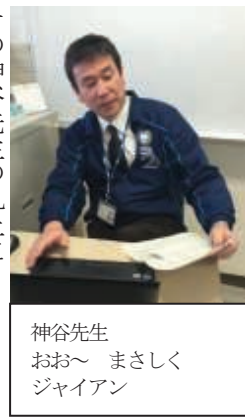
▼最近、職員室では舟橋先生の影響でiPhone派が急増。しかし薮木先生は見向きもせずにガラケー一本。ガラケー男子がもてるという噂もあるが、どうやらネットワーク技術者は皆スマホに興味がないらしい。

今年、ガラケー型スマホなるガラホが出てきているが、それぞれ信念を持って、うまく使い分けてもらいたいものだ。

▼レジェンドと言われるドラゴンズの山本昌投手と同じ年の自称「ゴッドファーザー」神谷先生がついにグラランドファアザーになってしまった。

最愛の娘さんから、お孫さんのプレゼント。早速スマホで写真を取り捲り、600枚もの写真が収まっている。それを見てニヤつく顔は、とても見てもらえぬ。

高校教員セミナーで、担当者紹介の際、神谷先生が紹介された。「よろしくお願いします」で終わろうとしたそのとき、岩井先生が一言。「ちよつとジャイアンに似てますけど



神谷先生
おお～ まさしく
ジャイアン

▼その神谷先生の机の上に「松岡先生から電話がありました」と安藤巧先生筆跡のメモ。

折り返し電話すると松岡先生から「いや、かけてないよ」と返答。安藤巧先生は誰と電話していたのだろう。

その安藤先生、岩井先生に学生のインターンシップ先の企業担当者名を聞かれ、

「ミナミさんです」と伝えた。その担当者に電話をかけた岩井先生が、何やらたじろいでいる。実は「ミナミ」は下の名前だったそう。

赤っ恥をかけた岩井先生に、安藤先生は「学生の報告書に書いてあったもんですから・・・。」と必死の言い訳。悪気は全くないのだが・・・。
▼松本先生は、同郷のプロテニスプレ

イヤー錦織圭選手の活躍にご満悦。今まで鳥取県と区別がつかない島根県が注目され急に態度がでかくなった。しつこく山陰地方の地理について熱く説いて回るが、誰も真剣に聞いてくれない。

▼日ごろから物静かな荒木先生。「携帯電話にかけても、いつも出てくれない」レッテルが貼られている。

ある日の夕方、携帯の着信履歴に学生からの電話があったことに気付いた。珍しく、返信したところ、

「あ、先生。間違えてかけちゃいました。めったに出ない電話なのに、これでは、ますます電話に出なくなるに違いない。

▼その横で、舟橋先生が疑惑をもって「岩井先生、iPadの出力ケーブル持ってます?」

「ううん。(舟橋先生が)貸してくれなかったから持ってたってないよ。」しばらくして、舟橋先生、

「自分の引き出しにありました・・・。」
「私は犯人ではない。犯人はお前だ。」
と言ったかどうか。



舟橋先生 と 岩井先生
ホントは仲がいいのです。ほら、その証拠に、背後でみんな温かく見守っているでしょう。

▼10号館では、長谷川先生が代休を取った。しかし、普通に出勤してきて普通に昼食の仕出し弁当を食べている。しばらくたって誰かが給湯室で騒いでいる。

「私の弁当がない!!!!」
 他人の弁当に手を出すとは、とんでもないやつがいるもんだ、などとモグモグしていた口がふとフリーズ。
 「ひよつとして今日の私は・・・。」
 その後平謝りに、そそくさと退散していく後姿があった。



長谷川先生
 ジャーサラダに凝っています。大豆、にんじん、コウナゴ、キャベツ、トマトなんでもいっぱい入っています

▼通称、お騒がせ男の小林先生!

新しく買った家からルンルン気分毎日JRを利用して通勤している。ところが、いつも通る改札でトイカを何回かぎしても通過できない。後ろに並ぶ利用客は迷惑顔で睨んでいる。

自分が悪いんじゃない、と言わんばかりに、駅員に差し出したその手には、トイカではなく、家のスマートキー。慌てふためいている姿は、しっかりと学生に見られていた。



小林先生
 普通、間違えますか? 否、だから小林先生なんです

▼山田先生もこの前、引越しをした。引越し先に照明器具がついてないのに気づかないまま日が暮れた。

その日は疲れていたのでもそのまま真っ暗闇の中でスマホの明かりだけを頼りに夜を明かしたようだ。

買いに行くのが面倒だったのか、数日間この状態で過ごした。

このまま、小さなもし火をこよなく愛する世界に入っていくのだからか。

そんな自分が好きになっていくのだろうか。

▼山本先生に不穏な動きあり。

寒がりなのか、最近ホツカイロを愛用しているのだが、尋常ではない。Yシャツの上から体の前後を包み覆うように何枚も貼り付けているのだ。まるで、防弾チョッキを着用しているようだ。



山本先生
 ロッカーが食糧庫ロッカーとして化している。そしてさらに防弾チョッキも収めるか

南海トラフ巨大地震に備えて、職員ロッカーを備蓄基地化し、ホツカイロと保存食料が詰め込んである。

新年会でレトルト食品が大量に当たった。早速備蓄基地へと移動し、ロッカーはパンパンである。

▼体験実習で静電気の実験を行う岩佐先生だが、あのバチッという放電が苦手だ。

いつも逃げまどいながら顔面蒼白で、雄叫びをあげながら必死の形相。

しかしながら参加者には大受け。

3号館はリアクション芸人の宝庫なのである。

▼学生会顧問の村崎先生は、多忙を極めているが、忙しい表情は、おくびにも出さず、淡々と業務をこなす姿は男前。



村崎先生
 1月にスキー研修団率でいってきました。ゴーグル姿で男前

ある日の出来事。

1号館と名鉄線路の間の道路を歩いていると、何やら肩に、ポタリ。見上げるとカラスがカ〜。

普通なら怒れてくるのだが、「よし、紫色のウンがついた。これで明日の体育祭は実施間違いなし。」と得意げに周囲に触れ回ったのだが、

今年度は雨天中止となってしまう。ムラサキのウンもたいしたことはないようだ。

▼最近、念願の数十万円もするという無線機を購入した森下先生。浮かれ気分毎日交信を楽しんでいる。

アンテナも通常地上高12m、昇降装置を作動させ最高26mまで上げて韓国との通信。

韓国には無線友達が沢山いる。挨拶も、ついつい「アンニョンハシムニカ〜」と出てしまう。



森下先生
 愛機の前で、緊張しています。無線は相手が見えないからいいのよ

休日の時間があるときには、いまだにアイススケートを楽しんでる。若い頃から鍛えてきた足腰は健在。

四日市の自宅から60キロも離れているモリコロパークにも通う。

62歳という年齢に鞭打って1日中すべっている。

目標は4回転大ジャンプ。学生に伝わらないおやじギャグのほ

うがよくすべる。◎少々の間違いや勘違いがあっても平気さ。みんなで支えあっているから。(優良可)

『静岡支部 創設2周年!』

静岡支部担当 堀内 豊

卒業生の皆様、お変わりありませんか? 静岡支部担当堀内です。卒業生の皆様からは、沖繩担当では無いのか? と問われそうですが、両支部とも担当しており、今期より坂下先生が加わり2名体制で静岡支部の運営を行っています。よろしくお願いします。

静岡支部は、平成25年5月に常任役員会にて支部設置の承認をいただき同年11月9日に第1回目の支部総会を実施。正式に富田支部長を中心に支部活動を始めました。また今年度は、11月8日に第2回目の総会とともにグラントホテル浜松にて開催しました。まだ支部活動が始まったばかりですが、静岡支部の大きな特徴は、本校校長でもある小川理事長からの示唆もあり、学園合同による支部活動(合同支部総会)を実施し、第1回目及び第2回目ともに姉妹校である東海工業専門学校校友会浜松支部とともに開催することができ、100名あまりの卒業生に参集いただきました。工学院としての参加者数は、まだまだ少ないですが、卒業後、工学院の6分野に加え建築・土木分野と幅広い分野の卒業生との情報交換を行うことができ、有意義な会

とすることできました。卒業生の皆さん、時には母校にご連絡をいただき、情報交換をお願いします。



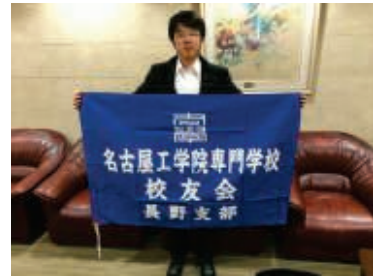
- ・第2回校友会静岡支部総会
- ・グラントホテル浜松にて
- ・平成26年11月8日開催

『ドンとこい 長野』

長野県支部担当 松橋 卓也

長野といえは善光寺。「遠くても1度は詣れ善光寺」「ウシに引かれて善光寺参り」。来年は7年に1度の善光寺御開帳などといつても長野というより信州は広くて一口ではまとめられません。皆さんは、長野という何を思い出しますか。御嶽山の噴火とか、白馬村の地震とかですかね。信州は大きく分けて北信、中信、東信、南信。都市では、長野、松本、諏訪、飯田などですかね。軽井沢は避暑地として有名ですね。やっぱり、どこも自然が豊かです。日本百名山のうちの8の

山が長野ですからね。それと長野県人の見分け方があります。「信濃の国」が歌えます。これ長野の県歌なんですよ。



支部旗を掲げる中込書記(H26 電気研卒)

さて、平成25年に長野県支部が発足しました。その年の卒業生に声をかけてやつの思いでの出発でした。今もまだ、支部の体をなしてませんが、今年も熱田神宮の南にある「あつた蓬萊軒」にて、在校生とともに懇親会を開くに至りました。贅沢名古屋の味「ひつまぶし」をみんなで食レポしました。お店の人が食べ方をレクチャーしてくれて、初めて食べる人が多かったのですが、薬味をかけて・・・出汁をかけて・・・などと盛り上げました。実は、長野にも岡谷の「石焼ひつまぶし」なるものがあるようですね。これも食べてみたいですね。来年も「矢場とん」の「味噌カツ」や「味仙」の「台湾ラーメン」などなど、名古屋めしめぐりを続けたいですね。それと、卒業生の皆さん、ご連絡をお待ちしています。

編集後記

猫の額ほどの庭に、しだれ花桃の木を育てている。

春に紅白の美しい花を咲かせるが、今は葉を落とし、日差しが暖かくなるのをじっと待っている。

昨年暮れから新年にかけて、寒波が襲った。寒々とした枝に風情を感じながら、ふと目を凝らしてみると、先の尖った小枝に小さな蛙が突き刺さっている。子供のころ、野山を駆け回っていたころ以来、久しぶりに見た『百舌(モズ)』のはやにえ(早贄)

モズは足があまり発達していないため、獲物を足で押さえてくちばしでついでに捕まえて、木の枝などに獲物を刺してくちばしでそれをついばむという食べ方をします。

そのためエサを捕らえととりあえず枝に突き刺すが、食欲があまりないと食べかけでエサを放棄してしまうので、早贄が残るらしい。

庭を囲う山茶花の生垣に置いたみかんを見ごとく見つけたメジロが、チーチュル、チーチュルとつぶむ。

そこへ、大きなヒヨドリがヒーヨ、ヒーヨとやってきて、横取りする。

自然の営みは、昔も今も変わらない。この自然をいつまでも残さなくては。そして、わが母校の伝統も。(花鳥)